

事業実績書

1. 地域づくりの活動方針(テーマ)

第4次5か年計画の初年度となる今年は、様々な年齢層がともに手を携え、「みんなでつくろう笑顔でつながるふるさと陶」のキャッチフレーズのもと、3年間のコロナ禍の経験を活かしながら、様々な地域課題を考慮し「オール陶」の体制で積極的に取り組みます。

2. 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	笑顔でつながるまち 陶	
	事業名	運動会・ふれあいまつり	決算額 600,188円
②	視点	歳を重ねてもhappyなまち 陶	
	事業名	ふれあいウォーキング	決算額 2,980円
③	視点	誰もがつながり支えあうまち 陶	
	事業名	陶クリーン作戦	決算額 209,157円
④	視点	帰りたくなるまち 陶	
	事業名	文化財保護活動	決算額 1 6,626円
⑤	視点	帰りたくなるまち 陶	
	事業名	夏フェス・夏まつり	決算額 100,000円

3. 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

	検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①	「運動会」は、規模を午前中に縮小して、4年ぶりに実施した。陶ふれあいまつりについては、第50回という節目の年でもあり、若者を中心とした「陶のこれから部会」がイベントを企画し、アニソン歌手を招待する等盛大に実施できた。	◎
②	4年ぶりに開催したふれあいウォーキングinSUEは、参加人数が例年の半数の33名だったが、天候に恵まれ各史跡をめぐることができた。来年は、参加者がコロナ禍前と同様になるよう周知に努める。	○
③	平成20年度開始以来、第54、55回を迎えた陶クリーン作戦で、地区中央部の国道、県道、市道の草刈りやゴミ拾いを、小学生から高齢者まで参加して実施した。6/30～7/1の豪雨で7/13に延期したにもかかわらず沢山参加して頂いた。	◎
④	陶ふるさと大学と称し、「陶の腰輪踊り」の講演会を学芸員を招き実施した。今年度は県無形文化財指定50周年記念公演のため、地区内外から31名の参加者があった。	◎
⑤	コロナ禍で計画しながらも実施出来なかった夏フェスが、4年ぶりに盛大に実施された。地元の若者が中心となり、企画・運営を行い、地区内外から100人を超えるの来場者で、賑わった。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

4年ぶりに「陶地区民運動会」・「陶夏フェス」を実施することができた。これも今までの高齢者を中心としたイベントから、若者を中心としたイベントに変革したことで、成果を上げることができた。

特に、「陶ふれあいまつり」については、第50回の記念回という事で、若者を中心に何度も企画会議を重ね、陶地区民に楽しんで頂けるような祭にすることができた。

また、陶中央部を清掃する陶クリーン作戦も豪雨で一時的に中止したが、これも事前の予報をもとに早めに中止を決め、予備日を事前に知らせ、作業内容を早めに変更することで、スムーズに清掃活動ができた。

柔軟な発想や行動で今年度の行事を実施することができたが、今後も若者の意見をどんどん取り入れ、固定概念を払拭し、新たな取り組みにチャレンジする。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,031,298円						
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、費用弁償、事務費、通信費 (成果・評価) 7月より事務局長が交代し、各委員会の資料作り、情報収集等不手際な点があったが、前事務局長や、事務局員のフォローもあり、何とか乗り越えることができた。 (今後に向けて) 今後意思の疎通をしっかりと語り、事務局体制をしっかりと構築し、事務局運営の改善に努める。						
	(費用明細) <table> <tr> <td>事務局長給与</td><td>1,637,600円</td></tr> <tr> <td>事務局員給与</td><td>1,951,264円</td></tr> <tr> <td>事務費</td><td>442,434円</td></tr> </table>	事務局長給与	1,637,600円	事務局員給与	1,951,264円	事務費	442,434円
事務局長給与	1,637,600円						
事務局員給与	1,951,264円						
事務費	442,434円						

(2) 地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	5,000円
事業概要	(実施内容)「陶のこれから部会」により、陶夏フェス、陶ふれあいまつりの企画会議を実施。 (実施時期) 7月、8月、9月、10月、11月 (参加人数) 50名 (成果) 陶夏フェスについては、地元の若者を中心に企画・運営を行い、また、陶ふれあいまつりは、小、中学生のボランティアに参加して頂き、盛り上がった。 (評価) 小、中学生の中から、『地元の行事に参加したい』という意見が出たことに、非常にうれしく思う。 (今後に向けて) 陶の行事の内容を、今後 小、中学生も含めた企画の検討を図りたい。

事業名	広報活動の推進
事業費	754,820円
事業概要	(実施内容)①広報紙「まるごと陶」を例年通り、毎月発行し、各戸に配布した。 ②フェイスブック「まるごと陶」で情報発信継続。 (実施時期)①、②共に令和5年4月～令和6年3月まで(No.137～No.148) (参加人数)①毎月第2水曜日編集委員会(96人) (成果)①今年度も内容が充実し、昨年度に引き続き、山口県公民館報コンクールで優良賞を頂いた。 (評価)①小、中学校の行事、地域内の行事等いろいろな情報を収集し、わかりやすいと、高評価を受けた。 (今後に向けて)①他地区の広報紙の良いところを参考にし、『まるごと会議』を充実させ、更に親しみ易い情報誌を目指す。

事業名	ふれあい行事の見直し
事業費	700,188円
事業概要	(実施内容) ①陶地区民運動会 ②陶ふれあいまつり ③夏フェス ④陶オリンピック ① 地区民運動会を令和1年以来4年ぶりに、競技を午前中に縮小して実施した。 ② 今年度は、第50回と記念の祭となり、気持ちを一つにするため、法被を30着作成し祭りを盛り上げた。 ③ 夏フェスも4年ぶりに開催し、若者の発想によりイベントも盛り上がり、地区内外から沢山の来場者がイベントに参加した。 ④ 来年度以降、若者の「陶のこれから部会」と「総務部会」が検討会を設ける事とした。 (成果) 4年ぶりという事で、手探りの所もあったが、若者の発想で参加者も増え、イベントが盛り上がった所は、非常に成果があった。 (評価) 運動会は、時間短縮が高評価であった。 陶ふれあいまつりは、イベント後半の、アニソン歌手や餅まきも含め大変高評価だった。 夏フェスは、4年ぶりという事もあり、多くの来場者で賑わった。 (今後に向けて) 今回のイベントの反省会を設け、今後よりよい行事になる様努める。

事業名	活動グループの育成
事業費	16,792円
事業概要	(実施内容) 地区民中心の活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊、③写友陶)を支援する。 ※趣味等が同じ人の集まりから少しずつ組織化する。 (実施時期) ①4月～翌年3月 ②7月～11月 ③年6回 (参加人数) ①会員18人 ②隊員21人 ③会員9人 (成果)①色々な野菜の植え付けから収穫までを1年を通して実施し、陶ふれあいまつりで焼き芋を販売した。 ②主に地区内の除草を行い、陶クリーン作戦の補助として、今年度3回実施し、延べ31名が参加した。 ③「陶の行事&四季」の写真コンテストに参加し、被写体やカメラアングルの話で盛り上がった。 (評価)①取れた野菜を販売したり、陶ふれあいまつりの炊き出しの具材にし、地域貢献に繋がった。 ②陶クリーン作戦で、処置出来ない部分を前もって除草することで、当日の作業軽減に繋がった。 ③陶ふれあいまつりでの掲示により、関心度が向上し、多数の投票に繋がった。 (今後に向けて) ①天候に左右され、収穫が困難な野菜もあるが、グループ員とのコミュニケーションを強化し続けてゆく。 ②助人隊の位置付を明確にし、除草以外での地域活動を構築してゆく。 ③更なる陶地域内の名所の撮影に期待し、地域内外へ、陶の魅力を発信する。

(3) 地域福祉

事業名	子育て支援の推進
事業費	60,000円
事業概要	(実施内容) ①キッズ陶来楽夢 ②げんきっず☆すえ (未就学児とその保護者の子育て支援) (実施時期) ①7月、9月、11月、12月、1月、3月 ②母推さんとの意見交換を実施した。 (成果) ①放課後の預かりで、裁縫、調理、手芸で楽しい時間をスタッフと過ごすことができた。 (今後に向けて) より充実した内容を考え、工夫し今後も続けてゆく。

事業名	小規模福祉の輪づくり
事業費	15,000円
事業概要	(実施内容) 講師を招き、高齢者の健康を維持する為の知識を習得し、介護予防に努める。 (実施時期) 4月、6月、8月、10月、12月、2月 (成果) 山口南署により、特殊詐欺や悪質商法等事例を通し学んだ。また、保険士による認知症予防や、転倒骨折の予防等も学ぶことが出来た。 (今後に向けて) 交流が深まり、また 健康維持の為、今後も続けてゆく。

事業名	三世代交流の推進
事業費	88,301円
事業概要	(実施内容)①カルタ大会 ②小学校で田植え体験 ③小学校で稲刈り体験 ④餅つき体験 (実施時期) ①6月4日 ②6月13日 ③9月25日 ④1月21日 (成果) ①ふるさとカルタでカルタ大会を実施した。 ②小学5年生が恒例の田植え体験を行った。 JA女性部指導のもと、もち米を3本ずつ持ち裸足で泥田を体験。 ③小学校5年生が、自分たちが植えたもち米を、手鎌で刈り取り、束ねてはぜ掛けを体験した。 ④だいがらや、木の杵と臼を使つての餅つきを、幼児、小学生、保護者が体験した。 (効果) 昔の農家の作業体験で、米の収穫や刈り取りの大変さを知ることができた。 また、子供たちが蒸された餅ごめで、餅つき体験も楽しくできた。 (今後に向けて) 年代が代わっても、昔ながらの収穫体験や、餅つきを伝えていきたい。

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	27,732円
事業概要	(実施内容) フォークダンス同好会への支援 (実施時期) 2ヵ月毎/年に実施 (成果) ダンスの楽しさを、皆で味わうことが出来、日常生活が豊かになった。 (効果) 他地区との交流等で、活動の場が広がったと同時に、顔なじみになり一層楽しくダンスできた。 (今後に向けて) フォークダンスを継続し、健康維持、仲間づくりに努める。

事業名	高齢者のサポート
事業費	141,800円
事業概要	(実施内容) ①陶老人クラブ連合会による敬朗会実施 ②西京大学の開催の支援 (実施時期) ①9月24日 ②8月21日 (参加人数)①120人 ② 58名 (成果)①今年度午前中の開催にも関わらず、市長をはじめ多数の参加を頂いた。 ②山口南署より、詐欺の手口の事例や、青藍会包括ケアステーションより講義頂いた。 (評価) 敬老祝賀会は、参加者が多く、非常に盛り上がり、また、西京大学も身近な事例で勉強になった。 (今後に向けて) 敬老祝賀会、西京大学とも継続して実施します。

事業名	交通弱者支援事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)①移動スーパーの利用 ②グループタクシー券交付要件の緩和 (実施時期)①9月 ②11月 (成果)①今回は、移動スーパーが地区内のどの場所にいつ頃来るか調査した。 ②グループタクシー券の緩和要件を市に確認したが、現状では緩和要件を満たさない事が判明した。 (今後に向けて) グループタクシー券の交付要件緩和については、今後も期待できない為、移動スーパーについて、時間、場所、販売の場所等を今後もっと詳しく調査し、交通弱者の支援に努める。

事業名	健康管理活動・保健講座
事業費	2,980円
事業概要	(実施内容) ①地域内の約5kmの史跡巡りで体力の向上(ふれあいウォーキングin SUE) ②百歳体操・介護講座の支援 (実施時期) ①11/11 ②毎週金曜日の4回/月 (参加人数) ①33人 ②約120人 (成果) 史跡めぐりは、4年ぶりに実施したが、例年に比べ、参加者が半数に留まった。 百歳体操の参加者は、限定されるが、親しみ易く人気があった。 (評価) 史跡めぐりは、距離的に丁度よく、体力の向上にも繋がった。また、百歳体操は、家庭ではなかなか出来ないが、友達と一緒にやることで、一層面白く、高評価だった。 (今後に向けて) 今後も、参加しやすい様に工夫し、継続してゆく。

(4)安心・安全

事業名	反射鏡設置・修復
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 反射鏡の清掃、点検・修理依頼実施。 (実施時期) 5月14日、9月24日 (成果) 交通安全対策協議会員で、地区内の反射鏡の清掃及び、曇り・破損の点検を5月と9月に実施した。 (評価) 鏡の曇りや、底の破損を8件ほど市へ報告し、その中で、曇りの酷い反射鏡を優先的に改善された。 (今後に向けて) 反射鏡の清掃は、2回/年を継続実施し、曇りや破損の有無を都度確認し、悪い箇所は、常に改善して行く。

事業名	空き家・空地の利活用
事業費	0円
事業概要	(事業内容) 空き家を有効利用し、カフェで地域の憩いの場とする。 (成果) コロナ禍で空き家訪問が出来なかった為、今年度は、空き家の戸数調査のみに終わった。 (今後に向けて) カフェに限らず、空き家、空き地を他の有効活用が出来ないか、さらに検討する。

事業名	自主防災活動の推進
事業費	99,191円
事業概要	(実施内容) ①小学校と合同で避難訓練実施。②炊き出し訓練実施。③土嚢づくりの実施。 (実施時期) ①11/6 ②11/19 ③12/10 (今後に向けて) 他地区の避難訓練に積極的に参加する。炊き出し訓練は継続実施。

事業名	要援護者の支援
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 災害対策基本法に基づく「避難マイプランマップ」を作成する予定だったが、自治会長、福祉員、自主防災員、民生児童の日程が合わず、今年度実施することが出来なかった。 (評価) 災害が少ない為、防災意識が希薄の傾向にあり、災害時の要援護者の救助活動に戸惑いが、感じられる。 (今後に向けて) 各委員との連携を取り、「避難マイプランマップ」を作成し、支援に努める。

事業名	交通マナーアップin SUE
事業費	56,620円
事業概要	(実施内容) 小、中学生の交通安全を図るため、交通安全期間中に安全旗の掲揚、立哨活動の実施及び、交通安全看板の点検実施。 (実施時期) 4月、7月、9月、12月 (参加人数) 64人 (成果) 今年度は、計画通りカーブミラーの清掃も実施。 (今後に向けて) 引き続き交通立哨等、交通安全の啓発活動を充実する。

(5) 環境づくり

事業名	土木工事:法定外公共物
事業費	3,525,000円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の整備「里道の舗装工事1件、水路の改修工事3件」 (実施時期) 令和5年8月～令和6年3月 (成果) 2期計画の里道の舗装、3件の水路整備ができた。 (効果) 水路の改修工事で、気象変化による増水にも対応できる。 (今後に向けて) 気象変化により、水路の改修工事が今後増えてくる可能性あり。

事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)
事業費	209,157円
事業概要	(行事内容) 地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化、中央公園の清掃を実施した。 (実施時期) 7月、11月、2月 (参加人数) 320人 (成果) 年々高齢化が進むが、法面の草刈り及び、ブロアーによる清掃を簡素化し実施した。 (評価) 豪雨で中断したが、多くの参加者により、環境美化に努めることができた。 (今後に向けて) 高齢化が進むため、時期、作業方法を見直し、効率よい環境美化に努めます。

(6) 地域個性創出

事業名	再発見「すばらしい陶」
事業費	253,161円
事業概要	(実施内容) ①陶地区の良さを写真で紹介する「陶の行事&四季」写真コンテストの実施。 ②陶の史跡・文化財等研究している史楽会が「史楽ノートVOL5」発行。 (実施時期) ①11月21日 ②2月 (参加人数) 38人 (成果) 陶の四季写真コンテストでは、例年になく沢山の作品応募があった。 (評価) 写真の技術が向上し、とても素晴らしい作品になった。 (今後に向けて) 陶の良いところを再発見できる写真を今後期待したい。

事業名	陶ふるさと大学(史楽会)
事業費	118,700円
事業概要	(実施内容) ①陶の腰輪踊りの講演 ②長松陶里の冊子制作 (実施時期) ①8月26日 ② 9月 (参加人数) ①31人 ②8人 (成果) ①学芸員を招き、山口県の腰輪踊りについて学んだ。 ②長松陶里(日本画家)の冊子を100部作製した。 (評価) ①ひとえに腰輪踊りと言えど、県内にいろいろな腰輪踊りがある事が分かり、驚いた。 ②2022年が長松陶里の生誕120年という節目に、冊子を作成でき、地域に知らせる事ができた。 (今後に向けて) 陶地域における周防鋳銭司関連を進めたい。

事業名	文化財保護活動
事業費	16,626円
事業概要	(実施内容) ①陶陶窯跡周辺の清掃を地区の子供たちと文教部会とで実施。 ②史跡説明板に、補助情報用QRコードの付加。 (実施時期) ①1月27日 ②中止 (参加人数) ①子供 11名 大人 18名 (成果) ①国指定の陶陶窯跡を地区の子供たちと一緒に清掃活動することによって、陶陶窯跡の歴史について、大人と子供で共有することが出来た。②QRコードの検討のみとした。 (評価) ①陶陶窯跡が、須恵器の生産に欠かせなかった事が、清掃を通じて、年々子供たちに認知されてきた。②QRコードについて、説明板の補修も含めて、再検討する。 (今後に向けて) 陶陶窯跡は劣化が進んでいる為、崩れない様清掃を通じて、維持管理に努める。

事業名	陶ブランドの立ち上げ
事業費	46,247円
事業概要	(実施内容) ①遊休農地に酒米を植え、地酒造りとさらにブランドの開発。 ②マスコット(すえっきポロシャツの作成・販売強化) ③竹林の整備計画、竹材再利用計画化 (実施時期) ① 本年度中止 ②7月～10月 ③8月 (参加人数) ① 0人 ② 2人 ③ 42人 (成果) ①については、今年度新ブランドの開発はできなかったが、②についてはポロシャツを 20枚販売した。③については、子供たちの夏休みこども講座で、竹細工のランタンを竹材を利用して作成した。 (評価) ②販売枚数が 20枚に達し好評だった。③子供たちが鋸を使うことに興味を持ち好評だった。 (今後に向けて) 地域以外の情報を取り入れ、さらなる改善に努める。

事業名	地元文化育成
事業費	26,933円
事業概要	(実施内容) 地元の音楽愛好家で、陶ふれあいまつりを盛り上げる。 (実施時期) 11月19日 (参加人数) 12人 (成果) 今年3チームの音楽愛好家が参加し、メインステージのアニソン歌手に劣らないステージとなった。 (評価) 地元若者のステージという事で、陶ふれあいまつりが盛り上がった。 (今後に向けて) 地元若者が気軽に参加できるよう、更なる改善を図る。

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容) 陶小学校コミュニティースクール活動を支援した。 (実施時期) 4月～翌年3月 (成果) 地域の方々に、指導をいただき、学校行事・教育活動の充実を図れた。 (評価) 地域の行事に関わって行こうとする児童を育成することが出来た。 (今後に向けて) 今後も、地域の皆さんと連携をとり、陶小学校の児童が地域に愛着を持てる様、支援してゆく。

